

## 令和5年度 中野区放課後デイサービスセンターみずいろ事業報告

特定非営利活動法人わかみやクラブ  
理事長 青柳 通  
中野区放課後デイサービスセンターみずいろ  
〒165-0021 東京都中野区丸山 1-17-2  
管理者 橘 英樹

### 1、基本姿勢

《みずいろが目指すところ》

「心に寄り添い、子ども達がありのままの自分でいられる居場所づくり。」

《みずいろの特徴》

「集団の中で社会ルールを学ぶ」

- ・子どものありのままを受け止め、信頼関係を育み安心できる居場所を提供する。
- ・友達と遊びながら、人への興味関心を育み、コミュニケーションの力を伸ばす。
- ・人と関わる中で、自然と心の葛藤や調整を身につけ、思いやりの心を育む。
- ・遊びを自分で選び、考え、自己決定する。自由に創造したり表現する喜びを知り、成功体験を重ね自己肯定感を育むなど、リラックスした環境の中、異年齢、異国籍、異なる特性を持つ友達の中で過ごすことにより、将来必要な社会ルールを自然と学んでいける場所を目指す。

### 2、年間総括

#### ① 感染症対策について

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、マスクの緩和等も行われている中ではあるが、継続して感染症対策を行うことで、大規模な感染症の罹患者もなく、運営を行うことが出来た。

#### ② 利用率について

平日 87%、土曜日 72%と年間予定通りの水準で受け入れを行うことが出来た。土曜日、長期休暇中の利用については、7割程度の利用に留まっている反面で、土曜日の預かりニーズの問い合わせはあるため、今後の利用増加について具体的な検討を行っていく。また、個別サポート加算が算定されている児童の受け入れについて強化し、当初 15%であった受け入れ予定を 27%まで引き上げることで、多くの重度の障害を有する子どもの受け入れを積極的に行った。

#### ③ 人員体制について

令和5年度、管理者を新任、心理職を採用、質の向上に尽力した。また、強度行動障害支援者養成研修(基礎)、児童発達支援管理責任者研修(基礎)の受講者をそれぞれ2名ずつ選出し、受講することで先を見通した人員体制を構築するための基盤を作ることが出来た。

### 3、収入

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザウイルス感染症など、年間を通して留意が必要な状況は継続していたが、利用率は、当初予定より平日 87.1% 学校休業日 72.6%と微増することが出来た。また、人員体制についても、加算等大きく崩れることなく算定できた。また、個別支援加算を算定している子どもの受け入れについても積極的に行い、当初予定の給付費受給 130%達成をすることができている。

### 4、運営

#### ① 雇用の安定を図る

令和5年度、採用として年度途中の産休代替のための職員採用と、令和6年度に向けた採用募集をかけている。産休代替については、短期間派遣を代替として登用し補充した。令和6年度に向けては採用広告を掲載し1名採用につなげている。求人掲載については、ハローワーク以外にも有料掲載を行う事で一定の面接希望の募集へつなげることが出来ている。雇用中の職員が継続して働くことが出来るための施策として、ケース記録やサービス提供記録など日々行う作業の効率を上げるための、フォーマットの整理や集約化などの施策を実施し、質は担保しながらも効率化を図り残業のない働き方に注力している。法令遵守に基づいた研修等の実施として、東京都が実施する「メンタルヘルスケア研修」を全職員受講し、職員がいきいきと働くことが出来るサポートについて考えるきっかけを作った。コンプライアンス研修を事業所内で実施し、ハラスメント等についても伝達を行っている。研修実施の際には、東京都研修代替支援を積極的に利用し、研修で外出してもその分の欠員を補うよう調整した。

#### ② 送迎時の安定した支援体制を目指す

令和5年度以前より雇用されている非常勤職員に送迎支援について研修等を実施し、学校送迎だけでなく、帰りの送迎にも添乗できるようにした。体制を整備したことで、常勤職員が日々のケース記録やケース検討、活動プログラムの考案などに充てることができた。送迎ポイントを集約することで、送迎延べ時間の短縮を行えるよう、令和6年度より開始を目指し調整している。

#### ③ BCP(事業継続計画)の策定

法人が運営する、4事業の管理者が中心になり、BCPの作成を行う。令和6年度にはBCPに沿った訓練を実施できるよう日程調整を行う。

### 5、支援

#### ① プログラムのバリエーションを増やす

夏休み中に外出イベントを2回(高学年向け電車外出、トランポランド)、所轄消防署と連携し起震車、消防車を使用した訓練と保護者引き渡し訓練をイベント形式で実施。また、定期で音楽(延べ7回148名参加)、英語を使ったリトミック活動(延べ5回97名参加)のための講師を依頼。それぞれ保護者、子どもともに人気の取り組みとなった。

#### ③ 子どもの課題等情報を共有する仕組みを作る

今年度より、連絡帳からサービス提供記録へ変更し、日々の共有を実施内容のみに限定させてもらった。また、日々の支援の記録を放課後等デイサービス支援ソフトに、詳細記入することを通常業務

に組み込み、支援目標の評価や当日のトピックを必ず入力することにした。支援の評価の保護者フィードバックについては6か月に1度行うだけであったが、2か月に1度「活動の振り返り」として共有することで個別支援計画の評価をより具体的に行うことが出来た。今年度日々の共有が少なくなったことで保護者より、情報開示については指摘されているため、来年度より一層の保護者との関係性強化を図ることが課題である。

#### ④ 月案、週案、日案の作成を行い、有効利用する事を定着させる

平日やイベント以外の活動についてはバリエーションが少なくなってしまう、数種類の活動を定期的実施するにとどまってしまう。来年度、活動内容についての研修を実施するなど、充実を図るよう工夫する。また、地域資源を活用できるよう地区懇談会など地域の行事に管理者だけでなく職員が参画できるよう働きかけを行う。

#### ⑤ 子ども達が自分の意志で行動する事を最大限可能とする仕組みを充実させる

今年度、居室の構造化検討チーム、イベント検討チームを設置し内容の充実を図る。居室の構造化については、それぞれの居室にコンセプトを明確に作り、「のんびりできる部屋」「運動、発散のできる部屋」「座って活動ができる部屋」に分類し、それぞれの居室をやりたいことに合わせることで、子どもたち自身も行き来しやすいようにしたこと、日々のスケジュールを子どもたちにわかりやすく提示、居室のルールや具体的に遊べる内容などについても視覚化し見通しのつきやすい環境にしたこと、言語でのコミュニケーションが難しい子どもでも自分の気持ちを伝えることが出来るようなツールを用意し、具体的な名称や気持ちを発信することが出来るようにしたこと、子どもたちが自ら選択できる環境となり、子どもたちは自分で考え意思表示をするようになった。

#### ⑥ 固定グループ体制をより良く機能させる

今年度、アセスメントから評価までの一連の流れを確立させることで、子どもを支援するための視点を養うことに注力した。活動の振り返りを書いていく中で、支援者としての視点の強化と、原案作成を担ってもらうことで、児発管と違った視点で担当者としての責任をもって子どもに関わることの大切さを知ってもらえるようにした。来年度、意思決定支援や自立支援にも注力できるよう支援の質の向上に努め、より良い支援を行う体制を構築する。

### 6、保護者支援

#### ① 放課後デイの利用保護者の交流や情報提供の場をつくる

今年度、保護者向け勉強会としてデコボコベース株式会社に性教育の勉強会をお願いし開催する。保護者会以外にもオンデマンド配信を行うことで多くの保護者に閲覧してもらう機会を設けた。来年度、既存の保護者が求める学びについてヒヤリングを行い、充実した勉強会を開催できるよう努める。

#### ② 保護者が家庭でも取り組めることを体験できる場を提供する。

ペアレントトレーニングの簡易版であるペアレントプログラムの試行実施は令和6年1月～2月にかけて、相談や放課後デイ利用の年長児から小学低学年の児童の保護者へ案内し、放課後デイみすいろの管理者・心理職と親支援担当者、ペアレントメンター事業の管理者とコーディネーターでプロジェクトチームを構成して実施した。プログラムは厚労省のペアレントプログラムマニュアルの資料を参考に作成し、当日の運営はペアレントメンターもサポーターとして参加し、保護者の視点での感想を募った。感想として、「～しなければならぬ」から少し解放された、小

さなことも褒めることができるようになった、自分の気持ちを簡単な言葉で伝えるようになった、など具体的な効果の声も聞かれた。令和 6 年度は、前期には職員全体へ取組みを広げることを行い、後期には一般保護者へ公募案内する予定ですすめている。

令和 5 年度 保護者支援報告書			延べ参加人数 749 名		
講座等種類	開催数	延べ参加人数 (年間)	講座等種類	開催数	延べ参加人数 (年間)
ミニ講座	2 回	52 名	個別相談	38 回	40 名
みずいろ保護者会	2 回	56 名	グループ相談会	22 回	155 名
ピアカウンセリング研修	1 回	8 名	企画講座	2 回	21 名
ペアレントプログラム	6 回	17 名	IROTORIYOUTH	25 回	331 名
シンポジウム	1 回	69 名			

令和 4 年度 393 名 61 件	令和 5 年度 749 名 99 件
--------------------	--------------------

## 7、職員の資質向上

法人内研修として、虐待防止研修や感染症対策研修のほか、個別支援計画作成研修、コンプライアンス研修、インシデント研修、法令・ガイドライン研修を実施。外部研修として、東京都社会福祉協議会登録講師派遣事業にて、性教育についての勉強会を実施のほか、事業所見学研修（障害児通所支援事業所 2 か所、就労継続 B 型事業所 2 か所、就労移行支援事業所 1 か所）を実施することで、ステージごとで変化する子どもへの支援方法や、放課後等デイサービス卒業後の居場所について理解を深めることで、法人理念である「トータルライフサポート」の担い手を育てるための研修とした。また、強度行動障害支援者養成研修（基礎）、児童発達支援管理責任者基礎研修、児童発達支援管理責任者実践研修をそれぞれ受講したことで、基礎的スキルに加え職員の体制の底上げを行うことが出来た。

災害、防犯対策として、管轄の消防署、警察署に協力を依頼し避難訓練（8 月）や防犯対策研修（12 月）、普通救急救命講習（3 月）を実施し、より実践に近い形で行うことが出来ている。

### 【研修テーマの予定】

法人内研修	9 月コンプライアンス研修 10 月インシデント研修 11 月ガイドライン研修 2 月個別支援計画研修
法人外研修	6 月就労継続 B 型体験研修（1 名） 10 月性教育についての勉強会（13 名） 12 月就労継続 B 型事業所・就労移行支援事業所・障害児通所支援事業所見学研修（5 名） 3 月普通救急救命研修（11 名）
資格取得	児童発達支援管理責任者基礎研修（2 名） 児童発達支援管理責任者実践研修（1 名） 強度行動障害支援者養成研修（基礎）（2 名）
嘱託医研修	嘱託医による勉強会を実施 5 月 熱中症について 6 月 感染症について

7月	夏季期間の注意事項・ケガ(鼻血)の対応など
10月	嘔吐・下痢を伴う感染症について
11月	感染症について

## 8. 職員配置

職種	常勤人数	非常勤人数	小計	備考
管理者	1		1	児童指導員兼務
児童発達支援管理責任者	1		1	
専門的支援員(心理)	1		1	
児童指導員・保育士	4	4	8	
指導員	3	1	4	
嘱託医		1	1	
合計	10	6	16	

## 9. 事業概要

### (1) 放課後デイサービスセンターみずいろ

事業内容	学校教育法第一条に規定する学校(幼稚園及び大学を除く)に就学している障害児や発達に課題のある児童について、授業終了後または休業日に生活力向上のために必要な支援、社会との交流促進、その他の便宜を供与する。	
営業日	月曜日～土曜日 (祝日、年末年始 12月29日～1月3日を除く)	
	平日	学校休業日・長期休暇
営業時間	13:30～18:00	9:00～18:00
サービス提供時間	14:00～18:00	9:00～18:00
定員	28名	
対象	中野区在住で中野区が支給決定した放課後等デイサービスに通所する受給者証所持の就学児	
利用料金	厚生労働省の定める料金 おやつ代 80円/回 調理・外出等は実費	

### (2) 中野区一時保護事業 なないろパラソル

事業内容	障害や発達に課題のあるお子さんの保護者が、疾病等により介護することが困難な場合や冠婚葬祭等の際に、お子さんを日中一時的に施設内で預かりする。
対象者	中野区在住の障がいや発達に課題のある小学生から高校生までの子ども
利用定員	2名/日
利用可能日時	月曜日から土曜日(祝日、年末年始 12月29日～1月3日を除く) 9:00～18:00

利用上限回数	5回／月
利用料金	無料 ※但し、おやつ等費用は実費負担

## 10. 利用率・加算算定延べ数

### 【利用率】

(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
放課後	91	89	86	91		88	86	89	85	85	82	87
休業日	78	70	69	77	78	69	64	51	84	81	73	78

	利用延べ数(293日)	平均
放課後	4,901名	87.1%
学校休業日	1,942名	72.6%

### 【送迎バス利用率】

迎え	4,260名(62%)
送り	5,388名(78%)

### 個別サポート加算対象児・算定件数

男性	13人	女性	4人
延べ件数	1,856名(27%)		

### 各加算算定件数

加算内容	年間延べ件数
事業所内相談支援加算	105件
家庭連携加算	2件
関係機関連携加算	5件

## 11. 令和5年度登録利用者

### ① 登録者数

・登録予定者数 59人

令和5年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男子	4	5	4	9	2	5	5	1	7	1	1	1	45
女子	1	1		2	2	3				5		1	14

### ② 学校分布

中野特別 支援学校	練馬特別 支援学校	明和中学	令和小	美鳩小	西中野小	江原小	青光学園	永福
30	4	5	4	9	3	2	1	1

